

電波時計 取扱説明書 (AC電源デジタル掛置兼用時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- 修理部品の保有について
電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

時計、電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

(Y2101)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 次のことを守らないと、火災や感電により死亡やけがなど人身事故の原因になります

- ぬれた手でふれない
感電や故障の原因になります。
- 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる場所では使わない
感電や故障の原因になります。
- ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない
ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。
- AC電源アダプターやケーブルが傷んだときは使用を中止する
そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。
- 本体やAC電源アダプターから発熱・煙・異臭などがするときは、直ちにAC電源アダプターをコンセントから抜く
そのままにすると、感電や火災の原因になります。
- ACプラグおよびコンセントの差し込み口のほこりを定期的にとる
ほこりがたまると、絶縁不良となり、火災の原因になります。
- AC電源アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使いかたをしない
定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になります。
- 雷が鳴り出したら、本機やAC電源アダプターにふれない
感電の原因になります。
- 分解や改造をしない
火災や感電、故障の原因になります。
- AC電源アダプターを布団などでおおった状態で使わない
熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。
- 故障や破損した状態で使わない
けがや火災、感電などの原因になります。
- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
 - 電池に傷をつけない。
 - 電池を分解しない。
 - 電池をショートさせない。
 - 電池を充電しない。
 - 電池を加熱しない。
 - 電池を火の中に入れてない。
- 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。
- 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
 - 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
 - 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 電池の⊕⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
- 使用中のAC電源アダプターに長時間ふれない
低温やけどの原因となります。
- 長期間使用しないときは、電池とAC電源アダプターを取り外す
安全のためAC電源アダプターや電池を取り外してください。
- AC電源アダプターのケーブルを引っ張らない
断線を防ぐため、コンセントから抜くときは、AC電源アダプター本体を持ってください。
- 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
- 下記のような場所では使わない
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
 - 直射日光が当たる所。
 - 暖房機器の風が当たる所。
 - 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
 - 火気のそば。
 - ほこりが多く発生する所。
 - 強い磁気が発生させる機器のそば。
 - 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
 - プール、温泉場などガスの発生する所。
 - 調理場など多くの油を使用する所。
 - ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10~50℃ *結露しないこと	標準電波	福島局/九州局自動選択
時間精度	表示精度 標準電波受信直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(温度が5~35℃のとき)	受信回数	1日8回
AC電源アダプター	入力定格:AC 100V 50/60Hz 出力定格:DC 5.0V 600mA 消費電力:約6W コード長:約1.8m	受信時刻	1時~4時、13時~16時 各時間帯の16分40秒に受信を開始
延長ケーブル	コード長:約1.5m	電波受信機能ON/OFF切り替え	2018~2019年まで対応
停電補償	電源:リチウム電池 CR2032 1個 停電補償時間:約1000時間	カレンダー	照明
		照 明	LED
		明るさ調節	明(常時)/暗(常時)/自動 切替式
			*自動:明暗センサーによる明暗2段階
		防滴防塵機能	なし

*製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

液晶表示について

▷0℃以下では表示が薄くなったり、反応が鈍くなったり、消えたりすることがあります。40℃以上では表示が濃くなったり、ムラになったりすることがあります。温度が0~40℃になれば正常に戻ります。
▷液晶はおおよそ5年を経過すると表示が薄くなる可能性があります。

付属品

リチウム電池 CR2032(お試用) 1個、 AC電源アダプター 1個、 延長ケーブル 1個
木ねじ(壁掛け用1個・コネクタ固定用2個 共通) 3個、 取付金具 1個
クギ(取付金具用4本・コネクタ固定用4本 共通) 8個、 取扱説明書・保証書 本書

GUARANTEE 保証書	
※品名・型番	
※保証期間	お買い上げ 年 月 日より 1年間
お客様ご氏名	様
ご住所	
TEL () -	
※販売店印(住所、店舗名、電話番号)	

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

※印は販売店記入

■販売店の方へ
この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

- ※送料・出張料は、実費をいただきます。
- 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。
 1. 保証書のご提示がない場合。
 2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
 3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
 4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障、または損傷。
 5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
 6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
 7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小キズ)。
 8. 電池の交換。

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**
(フリーダイヤル)
受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)
お問い合わせに際しては、製品番号(型番)をお伝えください。 例:8RZ000

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してはなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

電波時計について

電波時計とは
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はかね山標準電波送信所」の2カ所にあります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

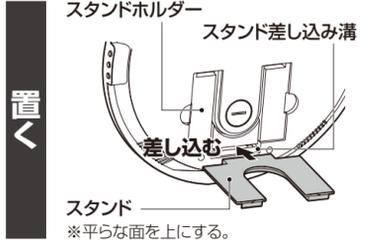
標準電波の送信停止について
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波を受信しにくい環境 次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

時計の設置について

○ケーブルに手や足を引っ掛けないよう、配線に注意してください。



注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 掛けかたは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ/取付金具)がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

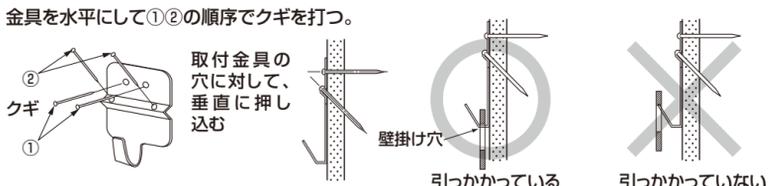
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石こうボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石こうボードの壁面です。
- 取付金具は下図のとおり、付属のクギ4本でしっかり固定してください。



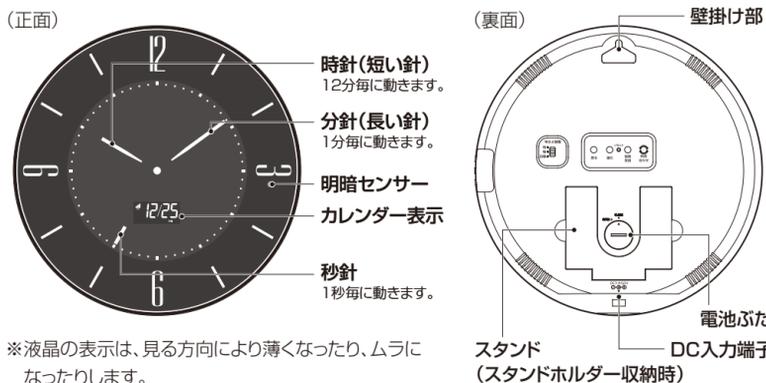
- 壁の材質、取り付け方法を確認の上で使用ください。
- 取付金具は水平に取り付けてください。傾けて取り付けると時計が傾きます。
- クギは取付金具の穴に対して、垂直に押し込んでください。
- 取付金具には、3.5kg以上のものは掛けないでください。

その他の壁面の場合

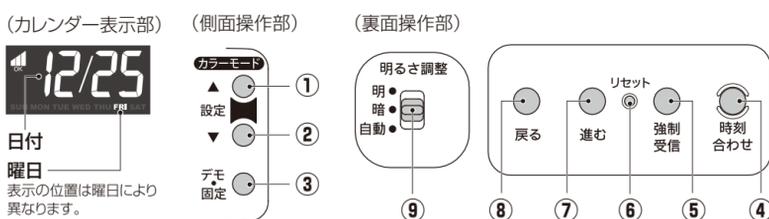
- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



※液晶の表示は、見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。



- ① カラーモード設定 ▲ カラーモードを変更するときに使用。
- ② カラーモード設定 ▼ カラーモードの変更可変と固定をするときに使用。
- ③ カラーモード デモ・固定 カラーモードの変更可変と固定をするときに使用。
- ④ 時刻合わせ 2秒以上押し続けると日時の設定へ。
- ⑤ 強制受信 すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。
- ⑥ リセット 電源を入れたときや、誤作動したときに押す。
- ⑦ 進む 手動で日時を合わせるときに使用。
- ⑧ 戻る
- ⑨ 明るさ調整 表示の明るさを調整するときに使用。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、液晶表示の一部が欠けるなど正常に機能しなくなることがあります。このようなときは**リセット**を押してください。

1. 電源のセット

(1) 停電補償電池をセットする

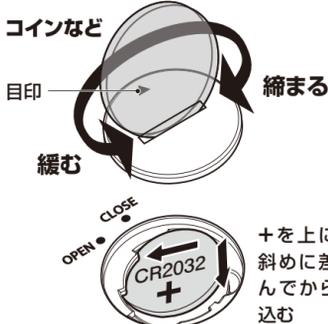
停電などでAC電源アダプターから電力が得られないときに、日時を保持するための停電補償電池をセットしてお使いください。

必ずAC電源アダプターを本体から取り外して作業をしてください。

- ① 電池ぶたの▲印をCLOSEからOPEN位置に回して、電池ぶたを取り外す。
 - ② 電池の+表示を上にして入れる。
 - ③ 電池ぶたの▲印をOPENからCLOSE位置に回して、電池ぶたを取り付ける。
- ※電池が取り出しにくいときは、すきまに楊枝などを挿し込んで電池を持ち上げてください。
- ※金属製のピンセットを使用しないでください。電池がショートすることがあります。
- ※交換用の電池は、家電量販店やコンビニなどでお買い求めください。

停電補償電池の役割

- 照明による日時表示はしません。
- 定期的に受信を行います。
- ※リセットボタン以外のボタン操作は無効になります。



■電池の寿命について

- 付属の電池は、お試用として工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

危険 死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容

- **必ず守る** 小さなお子様の手の届く所に置かない
- ボタン電池やコイン電池を飲み込むと短時間で化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。
- ボタン電池やコイン電池は絶対に乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一、飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。

(2) ACアダプターを接続する

時計のDC入力端子にAC電源アダプターのDCプラグを根元まで差し込んで、AC電源アダプターをAC100Vのコンセントにしっかり差し込み、接続します。

悪い接続例



- **警告** 必ず付属のAC電源アダプターを使用する。他のものを使用すると、故障や火災の原因になることがあります。

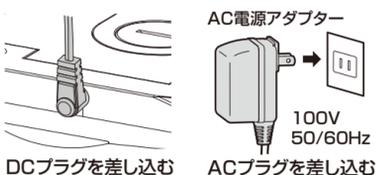
- **警告** 使用中のAC電源アダプターは熱くなることがあります。異常ではありませんが、ふれられないほど熱くなったときは、コンセントから抜いて使用を中止してください。

AC電源アダプターを接続してお使いください。

- 置いて使うとき: 本体に直接AC電源アダプターを接続する。
- 掛けて使うとき: 付属の延長ケーブルを介して、AC電源アダプターを接続する。

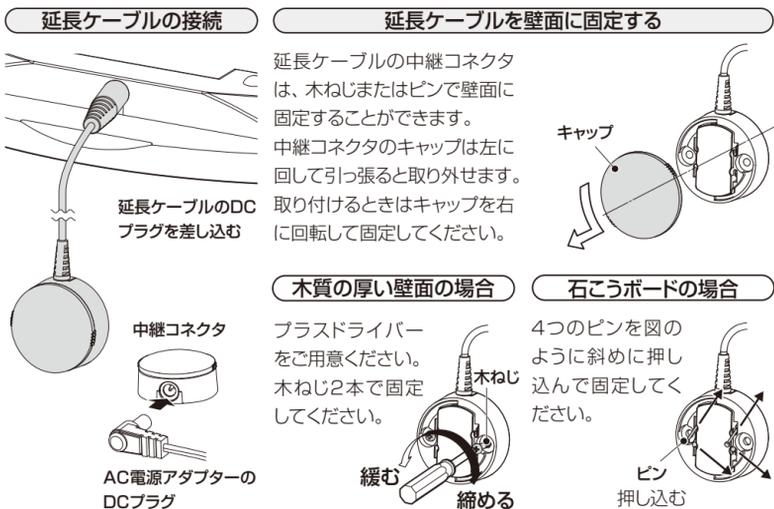
■直接接続

AC電源アダプターのDCプラグを本機のDC入力端子にしっかり差し込み、AC電源アダプターのACプラグをしっかりとコンセントに差し込んでください。



■延長ケーブルの接続

延長ケーブルのDCプラグをDC入力端子に奥までしっかり差し込みます。中継コネクタにAC電源アダプターのDCプラグを差し込みます。



2. 標準電波を受信させて日時を合わせる

標準電波を利用しないで手動で日時を合わせるときには、**(手動での時刻合わせ)**をお読みください。

① 楊枝などでリセットを押す

- ※リセットを押すと、受信を開始します。
- ※リセットを押すと、2018年1月1日、AM12:00に初期化されます。
- ◎ 受信中はボタンにふれないでください。

② 20分待つ受信結果を確認する

受信は、最長で約20分行います。受信マークで受信結果を確認してください。

☞【受信の流れと表示】参照



受信終了まで最長20分待つ



電波受信中のボタン操作について

電波の受信中に時刻合わせボタンを約2秒間押し続けるか、強制受信を押すと受信マークが消灯して、受信を中止します。

標準電波を受信できない場合

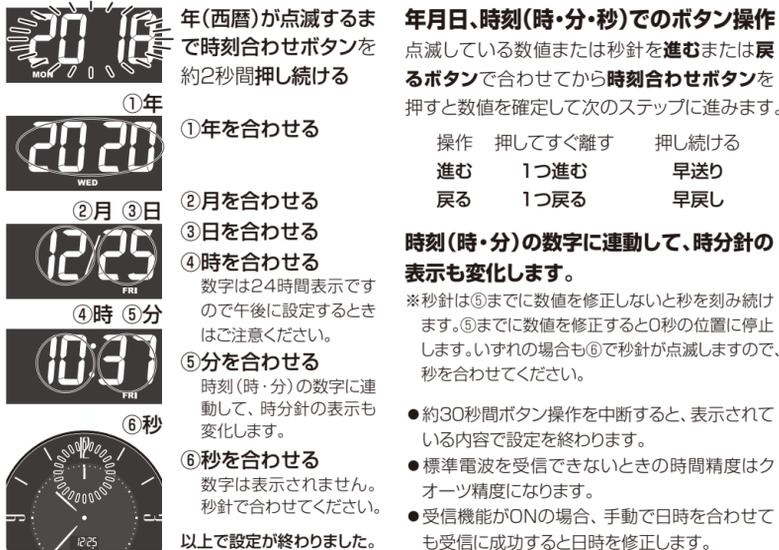
- 朝までそのまましておく 一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す 電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面が電波の送信所になるべく向くようにして、リセットを押して再度受信を行ってください。

標準電波を受信できないときには、手動で日時を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時、分、秒)の順に設定してください。

操作例 2020年12月25日 午前10時37分に合わせる



強制受信について

受信機能がONのときに、**強制受信ボタン**を押すと受信マークが点滅して受信を開始します。場所を移動したときなどに、すぐに受信を試みたいときに使います。リセット操作と異なり、受信に失敗しても日時は継続します。

●手動で日時を設定しているときや電波受信機能がOFFのときは機能しません。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

- 強制受信ボタンを約8秒間押し続けると受信機能のON/OFFが切り替わります。
 - ON: 定期的な受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。
 - OFF: 電波を受信しません。遅れ進みが発生したときは、手動で日時を修正してください。
 - ※ON/OFFが切り替わったときに、下図のようにON/OFFを約2秒間表示します。
 - 操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。
 - AC電源アダプターを取り外しても、停電補償用電池により設定は保持されます。
- OFFになったとき ※受信マークは点滅後、すぐに消えます。
- ONになったとき ※受信マークが点滅後、すぐに受信を開始します。

表示色について

表示色には、固定モードと可変モードがあります。

デモ・固定ボタンを押すたびに固定モードと可変モードとに切り替わります。

①固定モード: 色の変化はなくなり、表示色が固定されます。

デモ・固定ボタンを押したときの表示色で固定されます。

固定モードのときに▲または▼を押すと、表示色が段階的に他の色に切り替わります。押し続けると早く切り替わります。

②可変モード: 色が変わります。

可変モードのときに▲または▼を押すと、3種類(CL1~3)の色の変化を選ぶことができます。

※▲または▼を押すと、表示が一度消えてから切り替わります。

CL1: フルグラデーションモード 放射状のグラデーションがゆっくりと回転しながら変化します。

CL2: フラットグラデーションモード(単一変化) 液晶部の表示色全体が他の色に変化します。

CL3: ペイントグラデーションモード 前の色を塗りつぶすように時計回りに変化します。

電波の受信を行っていないときは緑の単一色になり、色の設定はできません。受信が終わると受信開始前の表示色になります。

(側面操作部) カラーモード 設定 デモ固定

固定モードから可変モードに切り替えたときや可変モード時に▲または▼を押すと、日付表示部に約2秒間、色の種類が表示されます。(上図はCL3)

表示の明るさについて

照明の明るさは、「明」「暗」「自動」から選択できます。「明」または「暗」を選択すると、常時「明」または「暗」の明るさ設定です。「自動」の場合は、明暗センサーが暗いと判別した場合は、表示の明るさが「明」から「暗」、明るいと判別した場合は、「暗」から「明」に切り替わります。

昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きます。

LED表示の明るさの変化について

本製品は時計表示の光源にLEDを使用しています。LEDの特性上、光源の明るさが徐々に低下するため、色合いや各数字ごとの明るさに差が生じることがあります。低下の割合は、使用する明るさの設定や設置環境により変わります。また、LEDは3年後で新品時の半分程度の明るさに低下することがあります。

※LEDの交換や修理には対応できませんので、あらかじめご了承ください。